

かけはし

基本方針
7つのあい

知りあい
つながりあい
みとめあい
そだてあい
ささえあい
見守りあい
助けあい

笛吹市ボランティア連絡会

笛吹市シニアクラブ連合会



《特集》 コロナ禍における取り組み 各種団体、住民等の活動

くわしくは
P2～3へ



目次

特集

- P2 P3 ▶▶ ● コロナ禍における取り組み 各種団体、住民等の活動
- P4 P5 ▶▶ ● 地域で安心して暮らしつづけるためにチームによる権利擁護の取り組みを紹介します！
● 障がい当事者のみなさん ボランティアで活躍中
- P6 P7 ▶▶ ● ボランティア功労賞・奨励賞受彰者のご紹介
● 善意の寄付・寄贈の御礼
- P8 ▶▶ ● コロナ禍でつながりにくい今だからこそ、日頃の見守りが重要に！！

発行 社会福祉法人 **笛吹市社会福祉協議会**

住所 / 〒406-0822 笛吹市八代町南 917 電話 / 055-265-5182 FAX / 055-265-5183

発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 竹内 稔 広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。



コロナ禍における取り組み 各種団体、住民等の活動

～これまで通りの活動ができない中、「コロナ禍でもできることをしよう」と実践している団体を紹介します～



連合会会長
田中勇 様

笛吹市シニアクラブ連合会 (旧 笛吹市老人クラブ連合会)

「往復はがきで交流」活動

～仲間とのつながりを絶やさない取り組み～

笛吹市シニアクラブ連合会では、コロナ禍でクラブ活動も制限を受ける中、「往復はがきで交流活動」を実施しました。

この活動は、仲間である会員の安否確認、要介護の状態やフレイル(虚弱)になっていないかなど健康状態を把握するとともに、「気にかけている仲間がいる」ということを伝えるために実施しました。

往復はがきの宛名は、印刷した文字ではなく「心のこもった手書きで」と、役員や会員たちが一枚一枚丁寧に仲間に宛てて書き、76歳以上の会員約2400人へお届けしました。

返信されたアンケートを集計し、今後のクラブ活動に役立てていきます。

つながり・絆を大切にしていきたい

一枚一枚に
気持ちを込めて



連合会理事
塩原秋子 様

返信内容を拝見すると、高齢者の生活そのものが見えます。回収率が低いのはなぜだろうと思ひ、手分けして訪問もしました。返信できない理由も多様で、ポストが近くに無い・書けない・理解できない・投函しに行けない・施設や病院での生活など・・・生の声でした。

なかには、ハガキを出すことも嫌だと認知かしら？と思われる方もいました。コロナ禍、気に掛けていた高齢者の実態だと思いました。今後の老人クラブ活動に反映したいと思っています！

アンケートの集計結果を活かして、小さな地域単位で声掛けし合えたらいいと思う。

現在、集計と内容の分析をしております！人生の先輩であり、老人クラブを牽引してきた皆さんを思い、後輩として臨んでみました。匿名でのアンケートだったため、「免許の返納をしたから買い物に行けない」などの困り事に対して、何もできないのがもどかしいとも思いました。やっぱり、訪問して、顔を見ながらお話をする機会ができれば・・・って考え中です。グラウンドゴルフのついでに「買い物？私も一緒に行くから乗っていく？」と気軽に声を掛け合えらいいですね！



若手委員
竹越妙子様



若手委員会のメンバー

社協は、地域福祉を広げます。その広がりためには、地域に住んでいる皆さんの力が必要です。住まれている一人ひとり、力を集結する集団・団体の力・・・社協は、そうした力(人)が高まっていくよう一緒に活動させていただいております。



感謝の言葉もたくさんあり、取り組みをねぎらう言葉もかけてもらい、今後もできることをやっていきたいという気持ちが生まれました。



連絡会会長
雨宮美枝子 様

笛吹市ボランティア連絡会

「くらし応援センター」活動

～コロナ禍でもできる助け合いの取り組み～

笛吹市ボランティア連絡会では、生活に困窮している市民のための助け合い活動「くらし応援センター」活動を実施しました。

この活動は、コロナ禍で暮らしに困りごとを抱える住民の方へ遊休品を還元し、よりよい地域生活を過ごしてもらうための一助になればという思いをかたちにしました。また、活動を通してボランティアの役割や生きがいを見出すことも目的として実施しました。

令和3年7月末から8月末の間、市民の皆さまからの寄付(日用品・食料品・学用品等201件)を受け付け、86件の支援を必要とするひとり親世帯と高齢者世帯にボランティアを中心に手渡しすることができました。

「助け合い活動」の輪を広げるため、今後もボランティア連絡会で検討をしながら活動していきます。

たくさんの市民の
善意が集まりました



とても嬉しいです。感謝でいっぱいです。子どもたちもよろこびます。ありがとうございます。

「市民からボランティアさんへ」

自転車でボランティアセンターに必要品を取りに来られた若者もいました。よく来てくれたね！って声掛けさせていただきました。「地域に応援している人がいるよ」って、「自分一人で悩まないで」って一番伝えたいです！



連絡会副会長
箸本幸子 様



連絡会副会長
片岡国男 様

コロナ禍、コミュニケーションを取れずにいたが、3密を回避し、可能な範囲での対話を行うことができました。モノの受け渡しだけでなく、喜びの言葉やマスク越しの表情を見ることができて、活動をして良かったという気持ちです。実際は、何ができるのか、知恵をしばらくながらの取り組みでした。今後も固定観念にとらわれず工夫しながら、様々な関係機関・団体とも連携しながら取り組みたいと思います！



企画から準備・運営まで
ボランティア

取り組みに受け手も担い手ありません。関わった人たちは、きっと「安心して暮らせる幸せあふれるまち」になるよう今後も引き続き、考えたり、思ったり、協力してくれるのではないのでしょうか。コロナ禍の地域福祉って・・・やっぱり、こうして地域住民の方と一緒に広げていくことですね！



コロナ禍、ボランティア活動にも制限がありましたが、ひとりではできないことを大勢の仲間の力が集まって、このような活動が実践できました。

チーム支援の取り組み

当初、デイサービス利用に戸惑いや不安があったようですが、徐々に慣れてきて、最近は休まれる事も無く利用されています。温泉と食事が楽しみのようで満足して頂いています。

毎月訪問し、計画通りサービスを利用しているのか、目標の達成具合や満足度など、本人と一緒に確認しています。

将来的に日常生活自立支援事業での対応が難しくなった場合には、もう一つの権利擁護事業である成年後見制度に移行することを検討するため、後方支援をしています。



ご本人 A さんと支援チーム

月2回ご自宅を訪問し、生活費のお渡しや、書類の確認等と一緒にしています。

私たちが訪問する時も笑顔で迎えてくれます。洗濯や掃除と一緒にしています。

チーム支援導入後の A さんの生活の変化

当初Aさんは、ケアマネジャーの顔を見るなり「あんたはカット」と言い、電話にも出してくれない状態でした。しかし、Aさんの困りごとが解決していくうちに、「あんたが来るのを待っていたよ」と変化が見られるようになりました。

洗濯や掃除などのヘルパー支援では、「自分で行いたい」との意思が強く、少し手伝おうとすると「やらなくて良い」と仰ることもありましたが、徐々にお互いの様子が分かり、一緒に行えるようになりました。

また、日常生活自立支援事業を利用する前は、金銭管理や書類手続きに不安がありましたが、事業を利用するようになり不安が解消され安定した生活を送られています。

ケアマネジャーが様々な支援者のかけはしとなって、本人を中心とした支援チームが形成されたことで、今ではAさんの望む住み慣れたご自宅での生活も豊かになり、笑顔で毎日暮らしています。

地域で安心して暮らしてつづけるために

チームによる権利擁護の取り組みを紹介します！

つながりあい
ささえあい
見守りあい
助けあい

権利擁護事業の取り組み



社協職員が、ご自宅を訪問し、書類手続きや金銭管理のお手伝いをしています。

いつも素敵な笑顔で迎えてくれます！

ホームヘルパーと一緒に調理を行っている様子。

自分にできることはしながら、自宅で元気に生活したいです。



Aさんは、英語混じりの会話で冗談を言ったり、お茶目な面をお持ちの80代の女性です。軽度の認知症があり、電気代の支払いが滞り、電気が止まってしまったり、市役所からの通知文書が届いてもそのまま放置してしまい、必要なサービスを受けられない状態になっていました。

「住み慣れた自宅で生活したい」というAさんの意思を尊重しながら安心して地域で暮らせるようにするために、社協が行っている権利擁護事業の一つである「※日常生活自立支援事業」を利用することになりました。

Aさんのように軽度の認知症などにより、金銭管理や書類手続きがご自分でうまくできなくなってしまった方でも、安心して地域社会の中で生活が続けられるように社協がお手伝いをしています。

Aさんはこの事業を利用することで、電気代等の公共料金の支払いや、各種郵便物の問題が解決し、安心した生活を送れるようになりました。

現在は「住み慣れた自宅で生活したい」というAさんの思いを尊重し、ケアマネジャーを中心に、Aさんの支援チームが形成されています。

←(左ページ) 支援チームがそれぞれ役割を持ち、連携を図りながらAさんの暮らしをサポートしています。

日常生活自立支援事業とは？

人権や財産等の権利をまもるための事業の1つです。

認知症などのために、自分で判断する能力が不十分だったり、意思や権利を主張することが難しい人たちのために、社協の職員が

- ① 福祉・介護サービスを利用するためのお手伝いをする
- ② ご本人に代わって金融機関の払い出しを行い、必要な支払いを行うなどの事業です。



障がい当事者のみなさん ボランティアで活躍中

知りあい
つながりあい
みとめあい
そだてあい
ささえあい



障害者地域活動支援センターふえふきでは、障がい当事者のボランティア活動を支援しています。依頼を受けて、地域で困っている方のお宅へ出向き草取りや片付けのお手伝いをしたり、地域イベントのチラシの挿絵やポスター作成を行うなど、支援センターに通う皆さんのそれぞれの得意分野を生かした活動です。石和町内では「若者ボランティア」として、ボランティア連絡会の一員としても活躍しています。自分にできることで地域の役に立つ経験が、障がい当事者の皆さんの生きがいや励みに繋がっています。障がい者が支援を受ける側という一方的な関係ではなく、障がいの有無に関係なくお互いに支え合える地域づくりを進めていきます。〈ボランティア奨励賞を受賞しました！ →P.7にも受賞の記事があります〉



お問合せ 社協・後見センターふえふき (笛吹地区地域福祉権利擁護センター) TEL 055-265-5182



わかもの かい
若者ボランティアの会 様

若者ボランティアの会様は障害者地域活動支援センターふえふきを利用する10名のメンバーで構成され、令和2年より、月1-2回程の頻度で行っています。活動内容は、草取りや片付けなどの他に、メンバーの得意なことを生かしてチラシの挿絵を描いたり、パソコンでチラシを作るといった活動もおこなっています。イラストはメンバーさんによってタッチはさまざま、チラシの挿絵の他、支援センターふえふきを利用する子どもへのプレゼントとしても喜ばれています。



善意の寄付・寄贈の御礼

皆さまからお寄せいただいた寄付・寄贈は笛吹市の福祉のために活用されています。皆さまの温かいご協力ありがとうございます。

※順不同になります(9月~11月)

助けあい

- 久保川芳貴 様** [石和]
>必要とされる方に
*佃煮びんづめ2箱
- 関本里枝 様** [石和]
>必要とされる方に
*洗剤ギフト1箱、ティッシュ2パック、トイレトペーパー3パック、ポケットティッシュ(ばら70個)
- 竹内隼 様** [石和]
>通所介護・障害福祉利用者へスマイルジャムのプレゼント
*141,600円
- 古屋二三男 様** [石和]
>地域の困っている方の為に
*お米30kg
- 菊島節子 様** [石和]
>必要とされる方に
*手編み毛糸帽子20個
- マルハン石和店 様** [石和]
>地域福祉推進のため
*お菓子7箱
- ヘアスタジオFine 様** [石和]
>地域福祉推進のため
*タオル103枚、箱入りタオル2枚入り15箱、シャツ8枚、タオルケット7枚、掛けふとんカバー7枚、バスマット5枚、バスタオル5枚、エプロン2枚、肌掛けふとん1枚
- 水平リーベ 代表 樋口滝人 様** [石和]
>ひとり親世帯応援事業のため
*お菓子5箱、米(5kg)100袋、切り餅(700g)100袋、お菓子(トッパ)100箱、ペビスタラーメ大袋1点、歌舞伎揚げ1袋
- ゴールドンベルゴルフクラブ 様** [石和]
>地域福祉推進のため
*クリスマス用品一式4セット
- 志峯会 広瀬透 様** [一宮]
>複合施設スマイルいちのみやの発展のため
*10,000円
- 雨宮隆 様** [八代]
>地域福祉推進のため
*100,000円
- 今泉教秋 様** [八代]
>地域福祉推進のため
*50,000円
- 國守聖子 様** [八代]
>地域福祉推進のため
*レトルト食品302個、缶詰49個
- (株)KFKファクトリー 様** [八代]
>地活利用者のため
*サンドイッチプレッド9袋、マスク(50枚入り)20箱



このやすみ
河野安美 様

河野安美様は地域の高齢者サロン活動や地域の子どもの生活と育ちを支えている「子ども子育てやつしろ」への協力など、子どもから高齢者まで幅広い世代に対して活動をされています。また、民生委員としても3期目を迎え地域の頼られる存在となっております。スマイルいちのみやが開所されてからも鉢植えの手入れを利用者様と一緒に寄り添いながら取り組んでいます。



他にも次のようなご寄付をいただきました。(匿名希望)

- *柔軟剤3袋、液体洗剤4袋、試供品多数、ミニタオル2枚、ストッキング4点、知育おもちゃ5箱、パズル6点、おりがみ3袋
- *食品各種
- *マッサージチェア1台

あい子ども応援基金の寄付・寄贈のお礼

- (株)SPC 様** [石和]
*10,000円
- 石川伸子 様** [御坂]
*3,000円
- 宮本京子 様** [御坂]
*5,000円
- ふえふき男衆ボランティアの会 様** [八代]
*147,972円
- 宮澤黎夫 様** [境川]
*20,000円
- 匿名希望**
*1,000円 *1,000円
*10,000円 *3,952円
*細切り讃岐うどん10食、そうめん1箱

「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」の実現をあなたの寄付で応援してください

笛吹社協では、個人の方、企業や団体からの寄付金を本所及び各地域事務所において常時受け付けています。お寄せいただいた寄付金は、地域福祉活動に活用させていただきます。ご寄付にあたっては、地域や事業所を指定することや、寄付金の使い道を指定する「指定寄付」も受け付けておりますので、寄付金が有効に活用されるようにご相談に乗らせていただきます。

お問合せ先

- 本所 TEL.055-265-5182
- 石和地域事務所 TEL.055-262-1267
- 御坂地域事務所 TEL.055-287-7355
- 一宮地域事務所 TEL.0553-47-2288
- 八代地域事務所 TEL.055-265-2240
- 境川地域事務所 TEL.055-266-5911
- 春日居地域事務所 TEL.0553-26-3667
- 芦川地域事務所 TEL.055-298-2170



笛吹市社会福祉大会
ボランティア功労賞・奨励賞 受彰者のご紹介

「第14回社会福祉大会」につきまして新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、参加者および関係者の皆さまの健康・安全を第一に考慮した結果、開催を延期させていただくこととなりました。

そだてあい

ささえあい

ボランティア活動功労賞

ボランティア活動において具体的な実践活動を5年以上継続して行っており、その功績が顕著である個人及び団体。

ボランティア活動奨励賞

ボランティア活動において具体的な実践活動を行っており、その功績が奨励される個人及び団体。



ふえふきしろうどく れんらくかい
笛吹市朗読ボランティア連絡会 様

笛吹市朗読ボランティア連絡会様は、市内の6つの朗読ボランティアサークルが所属しています。笛吹市や社協の広報誌をCDに録音し、市内の視覚障害者にお届けする「声の広報」活動に毎月取り組まれています。また、定期的に朗読学習会を行い、自身の朗読の技術を高めています。高齢者施設や地域サロン等での朗読活動や、朗読発表会を開催するなどの活発な活動を展開しています。障がいの有無に関わらず誰もが必要な情報を得られるよう、大きな役割を担っています。



あめみやみえこ
雨宮美枝子 様

雨宮美枝子様は福祉施設でのボランティアやシルバー体操指導員など様々なボランティア活動をされてきました。現在、笛吹市ボランティア連絡会会長、一宮町ボランティア連絡会会長、生活支援ボランティアの会会長を務められています。今年度実施した笛吹市ボランティア連絡会による「くらし応援センター」では、企画・運営の中心的存在としてご活躍。また、障害者施設の利用者を自身のぶどう畑に招待して交流を深めるなど地域に根差した活動を続けられています。



かいけんだまくるー
甲斐KENDAMA.CREW 様

甲斐 KENDAMA.CREW 様は作業療法士(リハビリテーション専門職)の4名で構成されるけん玉プロボノチームです。プロボノとは、本職の技術や経験を生かしたボランティア活動のことです。作業療法の知識とけん玉の運動効果を掛け合わせた講座や体験などといった地域活動を行っています。子供や高齢者まで幅広い年代を対象に、健康促進や介護予防、フレイル予防等を啓発しています。「けん玉で山梨を元気にする」を合言葉に、作業療法士による確かな技術と経験に加え若い力で地域貢献をされています。



いちのみやちようせいかつしえん かい
一宮町生活支援ボランティアの会 様

一宮町生活支援ボランティアの会様は一宮町地域福祉推進委員会で活動に向けた検討が始まり、平成28年6月に発足しました。「買い物に行けない」「ゴミ出しが大変」「草取りができない」等の生活の困りごとに応える生活支援を通して、住民が安心して暮らせる地域づくりを目指しています。現在、一宮町内各地域の住民会員の方86名とスマイルいちのみや障がい部門のメンバーで活動をしています。コロナ禍においても地域住民のために草刈りやゴミ捨て等の困りごとを抱える地域の方を支援する活動を続けてきました。



※使用している写真には新型コロナウイルス感染拡大前の写真も含まれております。現在では感染拡大防止対策を行い活動をしています。

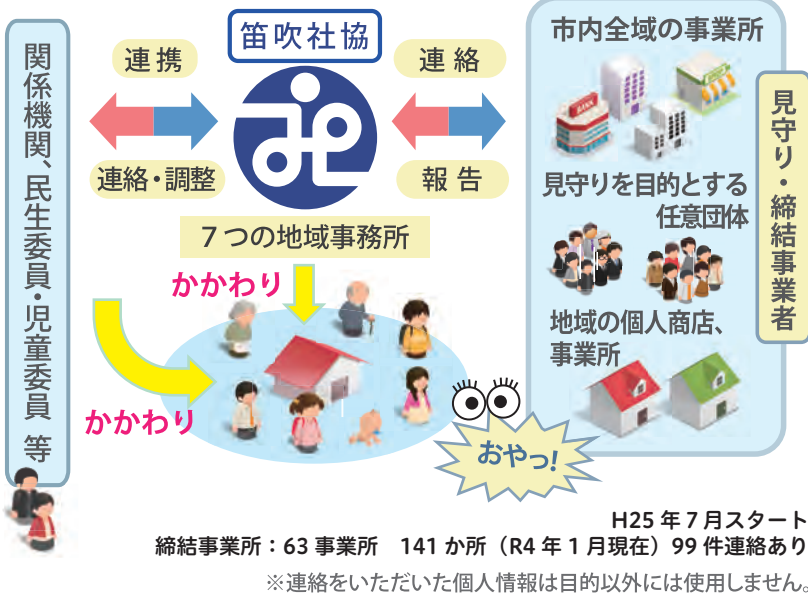
コロナ禍でつながりにくい今だからこそ、

日頃の見守りが重要に!!

見守りあい

助けあい

ふえふき地域見守りネットワークのしくみ



「ふえふき地域見守りネットワーク」(以下、見守りネットワークと言う)とは、民間の事業所の方々に協力をいただきながら、仕事中に地域の高齢者や障がい者、子ども等、地域住民をゆるやかに見守っていくものです。お仕事中に「おやっ?変だぞ」「何か気になる」こんな時に笛吹社協に連絡をいただき、笛吹社協と関係機関等が連携し必要な支援を行っています。安否の確認や認知症の方とそのご家族の支援や、消費者被害の防止、虐待の早期発見など見守りネットワークは住民の生活の安全安心につながっています。コロナ禍で地域行事が中止になり集まることが少なくなっている今、地域での見守りも変化しています。地域住民や専門機関による見守りの隙間で企業の皆様の見守りは益々重要になっています。

見守り協力事業所様へインタビュー!



飯塚新聞店様(石和町)
(新聞配達事業所)
配達時のポストの状況や電話のやりとりで気づいたお宅の様子を連絡してくださっています。

Q. 日頃の見守りの様子を教えてください

コロナで接触の機会が減っていますが「話をしたいから月に一度くらい来てよ」という方には、やり取りの機会を持つようにしています。

Q. 活動でところがけていることはありますか?

高齢者が急速に孤立していると感じます。もっと気軽にSOSを出してもらえれば、周囲の助けが入りやすくなると思います。「助けて」のサインを受け止めるために、お客さんに信頼してもらえる関わりを続けていきたいです。



株式会社ニシムラ様(一宮町)
(ガススタンド・ガス事業者)
これまでにお店に来られたお客さまの様子や、集金時の自宅の様子から、連絡をしてくださっています。

Q. 日頃の見守りの様子を教えてください

月一度の集金で、ひょっとしたらお金の管理が難しくなってきたかな?など、本人の変化に気づくことがあります。

Q. 活動でところがけていることはありますか?

声をかけたけど姿が見えないな、普段と様子が違うぞ?ということがあったら心配になります。独り暮らしの方が増えているので、続けて気にかけていきたいです。



石和地域事務所 渡邊

見守りネットワークは、社協がつなぎ役となり、事業所の皆さまからの通報を速やかに関係機関へつなげるとともに、その結果を事業所様へお返ししています。ご協力いただく事業所様のみならず、住民の皆様に安心していただける仕組みとなっています。見守りの目がふえていくことで住民の皆さまの安心につながっていきます。さらなる事業所の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



一宮地域事務所 大村

社協が見守りのつなぎ役になります!

お問合せ

笛吹市社会福祉協議会 本所：055-265-5182

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い取材させていただきました。